

2023年9月20日

各支部執行部 御中
組 合 員 各 位

日清製粉労働組合
中 央 執 行 部

第 70 期 第2回中央執行委員会 報告



日時 : 2023年9月11日(月)11:00 から 9月13日(水)17:00 まで
場所 : 組合本部事務所(赤木、松尾、松本、島津、西村、荒井、武井、佐々木)

<第2回中央執行委員会 議題>

[討議事項]

1. 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討
2. 支部長・書記長会議の内容検討
3. 11月労使協議会の取扱いテーマ・質疑案検討
4. 70周年記念行事に関する件
5. その他

[報告事項]

1. フード連合関連
2. その他

[討議事項]

1 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討

今期取り組む「10本の活動の柱」について、以下の通り議論した。

(1) 活動の柱① 「多様な価値観を踏まえた総合的な労働条件の改善」

2024 春闘対策

組合員一人ひとりが現場で取り組んできた「頑張り・創意工夫」や、具体的な「業績貢献」「施策貢献」について、第70期も年間2回(10月及び2月)に分けて集約することとしたい。各社毎に頑張りの声を挙げる際のポイントを整理した上で、追って各支部に依頼する予定なので、対応をお願いしたい。

支部には2回の集約で手間をかけていることは認識しているが、この2回集約を実施することで春闘時の「声」の質・量ともに非常に高くなり、交渉団としても会社からの反応が変わってき

た実感があり、引き続き協力をお願いしたい。

各支部執行部で意見集約がしやすいよう報告用紙とは別に支部内での意見集約用フォーマットを作成し、展開する予定。

(2) 活動の柱②「所定外労働時間の実態記録の定着」

① 所定外労働時間のデータの分析及びヒアリングによる実態把握

労働時間の「過少申告ゼロ」を目標として掲げ、アンケートやヒアリングを実施してきた。今期もアンケート結果をもとに随時必要に応じてヒアリングの実施を行う方針とする。ヒアリングの結果、必要に応じて事業場とも協議の場などで問題提起していただきながら、過少申告ゼロを目指していくことに変わりはない。対応に困る場合には本部にいつでも相談願いたい。

また、69期で所定外労働実態記録について効果的な対策を実施できた支部については、支部訪問時に改めて取り組みの詳細を確認し、他支部に横展開を図っていききたい。

(3) 活動の柱⑤「こころとからだの健康サポート」

安全衛生分科 A・B 委員会について、10月13日に開催される支部長・書記長会議にて安全衛生分科A・B委員を決定する予定。本部としては9月27～29日に名古屋で開催される全国産業安全衛生大会に松尾副委員長と西村書記次長が参加し、情報収集を行う。

(4) 活動の柱⑦「合理化3原則に基づいた労働生産性の向上」

労働組合として生産性向上に取り組む背景・意義・目的を整理し、生産性向上に向けた職場毎・個人毎の取り組みの事前集約について議論した。昨年度と同様に、次回の「頑張りの声」の意見集約時(2023年10月)にあわせて、組合員の「業務改善」について意見集約することとしたい。

(5) 活動の柱⑨「地域のボランティアをはじめとした社会貢献活動の推進」

68期まで本部主体でフードバンク活動を行ったが、69期以降は本部主体の首都圏地域でのフードバンク活動は行わず(フードバンクは本来地域密着型の取り組みであるため。本部としては、フードバンクに代わる社会貢献の取り組みを検討する)、支部単位で行っていただきたい。各地域でフードバンク活動を行っている団体を紹介するなどのフォローは本部として引き続き行う。また、フードバンク活動以外の支部独自の取り組みについても、昨年の各支部の社会貢献活動取り組みについてヒアリングし、他支部に横展開していききたい。

(6) ビジョン全体に関する取り組み

「2025 Vision」の達成に向けた取り組みとして、「ナイスアクション大賞 for Vision」の取り組みの進め方について討議し、今期の表彰方式について検討を行った。

2 支部長・書記長会議の内容検討

10月13日に実施する支部長・書記長会議について、本年も集合開催となる。外部講義も含め、会議での本部からの説明内容、及び討議テーマについて議論した。

3 11月労使協議会の取り扱いテーマ・質疑案検討

11月に実施する本部労使協議会の取り上げテーマ、質疑の中執案について討議した。支部訪問での各支部の意見も踏まえて、組合としての質疑を決定していく。

4 70周年記念行事に関する件

70回定期大会にて開催が決議された70周年記念式典について、内容の素案、準備、当日の運営について検討を行った。式典は、12月15日に実施される第70期第1回支部代表者会議に合わせて都内で開催予定。詳細が決まり次第、速やかに各支部に案内を行う。

[報告事項]

1 フード連合関連

(1) フード連合 第22回定期大会

日時:9月4日(月) 方法: 集合型対面形式

フード連合は2002年11月に結成され、現在(2023年7月時点)では268単組、112,362名が加盟する組織となっている。今期は2年制の運動方針の1期目となる。①食品関連労働者の総結集、②組織力の向上・連帯の強化、③総合的な生活改善、雇用・労働環境の整備、④産業政策の確立・実現、⑤ジェンダー平等をはじめとした多様性の推進、及び社会性を持った労働運動の実現に取り組むこととしている。大会では「2023春季生活闘争のまとめ(案)」等7つの議案について全て全会一致で可決された。当労組からは、赤木委員長と松本副委員長が代議員として出席した。

また、定期大会終了後に「フード連合20周年記念レセプション」が開催され、赤木委員長と松本副委員長が出席した。

(2) 製粉部会 第22回全国会議

日時:9月4日(月) 方法: 集合型対面形式

製粉部会の2023年度の運動方針や活動予算などについて審議を行った。また部会役員およびフード連合委員を選出した。当労組から赤木委員長が製粉部会副部会長に、松本書記長が製粉部会事務局次長に、西村書記次長が常任委員に選出されている。当労組からは、赤木委員長と松本副委員長、西村書記次長が出席した。

(3) 水産冷食部会 第22回全国会議

日時:9月4日(月) 方法:集合型対面形式

今期の部会活動計画や活動予算などについて審議を行った。また部会役員およびフード連合委員を選出した。当労組からは島津書記長が会議に出席した。

2 その他

(1) エンジニアリング産業労働組合協議会(以下、CEU)参加の件

日清製粉労働組合として、上部団体はフード連合に加盟しており、各種情報収集は主にフード連合加盟組合を中心として行っている。

一方で、エンジニアリングについては食品産業とは大きく異なる業界であり、フード連合での情報収集では会社との議論において限界がある。そのため、エンジニアリング産業の労働組合が集まり、情報交換を行っている CEU(上部団体等はない)に今期より参加し、松本副委員長を主担当として情報収集を行っていくこととした。

9月8日～9日に第57回定期大会が開催され、赤木委員長と松本副委員長が出席した。

<CEU 参加労組(順不同)>

石垣労働組合東京支部	荏原合同労働組合
オルガノ労働組合	栗田工業労働組合
水道機工労働組合	千代田化工建設労働組合
月島機械労働組合	東洋エンジニアリング労働組合
三菱化工機労働組合	レイズネクスト労働組合

[今後のスケジュール]

9/25-10/6	第1回支部訪問
10/10-12	第3回中央執行委員会
10/13	支部長・書記長会議
10/13	第1回臨時大会
11/2	グループ労使協議会
11/8	労使協議会(グループ本社)
11/9	労使協議会(エンジ)
11/14	労使協議会(ファルマ)
11/15	労使協議会(製粉)
11/15	労使協議会(ウェルナ)
11/13-17	第4回中央執行委員会
11/20-12/7	第2回支部訪問
12/8	執行部育成研修
12/13-14	第5回中央執行委員会
12/15	支部代表者会議
12/15	70周年記念式典

以上